

点鼻型 インフルエンザワクチンについて



イギリスでは今年より、2、3歳のお子様を対象に点鼻型インフルエンザワクチンの接種が始まりました。来年以降、大きなお子さんにも接種の対象は広がる計画です。
このワクチンそのものは2～17歳までの方に接種が可能です。

Q 点鼻ワクチンについて、詳しく教えてください

A ワクチンの名前はFluenz(Astra Zeneca社)といい、生ワクチンです。(生ワクチン：インフルエンザの原因となるウイルスの毒性を弱くしてつくられるワクチン)

左右各鼻腔に1噴射ずつ点鼻しますが、接種回数は9～17歳が1回、2～8歳は1回もしくは2回となります。(過去にワクチンを接種したことがあるか、インフルエンザにかかったことがあるか、によって回数が異なります。)

Q 点鼻型ワクチンの利点がありますか？

A 痛くなく、あっという間に終わるため、子供が嫌がらないという利点があります。また、小さいお子さんの場合、注射ワクチンに比べて点鼻ワクチンの方が効果があるとされています。

Q 副作用はありますか？

A 副作用が起こることはありますが、大抵は軽くて済みます。主な症状は、鼻水、鼻づまり、食欲減退、頭痛、倦怠感などです。まれに発熱、筋肉痛を伴うこともあります。(当院ホームページ最新情報、問診表・副作用のページをご覧ください。)

Q 点鼻ワクチンを接種できない場合がありますか？

A 免疫不全、卵アレルギー、重篤な喘息を抱える方は接種できません。また、家族に免疫不全の方がいらっしゃる場合も接種を控えます。その場合は、注射ワクチンの接種を検討されるとよいでしょう。

また、接種当日に体調が悪い場合は、接種が延期になることもあります。